

報道関係者各位

ご案内

ワークショップ「生殖医療の質向上に向けて患者からの提言」で発表

## 日本受精着床学会で患者の生の声を伝えました！

NPO 法人 Fine (Fertility Information Network = ファイン)

<http://j-fine.jp/>

### 医療者中心の学会で医師、看護師に加えて、受付事務、「患者」が発表

不妊症患者をはじめ不妊で悩む人をサポートする、体験者によるセルフサポートグループ、「NPO 法人 Fine(ファイン)」は、8月6日、第27回日本受精着床学会総会・学術講演会の「ワークショップ2 生殖医療の質向上に向けて患者からの提言」で、理事長・松本亜樹子とメンバー2名、計3名が発表しました。

これまで同学会では、医療従事者を対象とした「医療技術」の発表や講演が中心でしたが、今回、初の試みとして「医療の質向上」をテーマとして、患者や受付事務従事者を交えたワークショップが行なわれました。広島 HART クリニックの高橋克彦理事長がコーディネーターを務め、医師だけでなく、医師・看護師以外の医療従事者、医療施設スタッフも参加した「患者の意思を尊重する、チーム医療の方向性」を探るセッションとなりました。

#### 日本受精着床学会の開催概要

学会名：第27回日本受精着床学会総会・学術講演会

日時：2009年8月6日(木)～7日(金) \*Fine が参加したワークショップは6日14時～15時30分

会場：国立京都国際会館

会長：関西医科大学産科学婦人科学講座 神崎秀陽教授

参考ウェブサイト <http://jsfi27.umin.ne.jp/>

### Fine は「体験談」と「不妊治療施設とのコミュニケーションアンケート」結果を発表

90分のワークショップの中で、Fine から3名が発表しました。2名は、医療機関における医療スタッフとのかかわりにおいて、「不便を感じたこと」「困ったこと」「悲しかったこと」「腹が立ったこと」などを、医療スタッフの職種ごとに事例を挙げ、体験談として発表しました。その後、Fine が独自に実施した「不妊治療施設とのコミュニケーションアンケート」(2009年3月～6月実施)の結果を、理事長・松本亜樹子が発表しました。

アンケートの質問と結果：(抜粋)

- ・「治療のスケジュールの説明は誰から聞きたいか？」(1位：看護師 2位：胚培養士 3位：医師)
- ・「待ち時間は長いですが医師が丁寧に説明してくれる」と、「医師の説明は必要最低限だが、待ち時間が少なく、医師の説明の補足は他のスタッフがしてくれる」とどちらがいいか？(丁寧に説明：54% 待ち時間が少ない：46%)
- ・「治療をやめる決定は誰がするのがいいか？」(自分たち：81% 医療者：19%) など。

ESHRE(欧州生殖医学会)にも昨年からは患者発表部門が設定されており、今年も Fine が提出した演題が選出されて、6月30日にオランダ・アムステルダムで開催された同学会にて口頭発表を行ないました。Fine としては、国際的にも医療学会は医療者だけのものではなく、患者の声を聞き取りつつある流れを感じています。Fine は今後も当事者の声を多方面に伝え続けていきます。

**NPO 法人 Fine これからの活動予定 (2009 年 8 月 25 日現在)**

**11 月 3 日 『Fine 祭り 2009 そこが知りたい! 不妊』開催 (東京・日経ホール)**

参考ウェブサイト : <http://j-fine.jp/matsuri/2009/matsuri.html>

**NPO 法人 Fine これまでの活動実績 (抜粋)**

**日本初! 不妊ピア・カウンセラー養成講座の運営**

日本で初めて、不妊に特化したピア・カウンセラーを養成、1 年間の独自のカリキュラムを経て認定試験に合格した Fine 公認ピア・カウンセラーたちは、全国で活躍中です。養成講座は現在、第五期を開講中。

参考ウェブサイト : <http://j-fine.jp/counseling/2009/piacouns.htm>

**日本初! 不妊当事者団体として、不妊治療の保険適用を求めて国会請願を実施**

不妊当事者団体として初めて、2007 年 10~11 月に、不妊治療に関するすべての薬剤と検査に対する保険適用を求めて国会請願を実施! 集まった署名は約 15,000。34 名の国会議員にご協力いただきました。

2009 年、不妊患者の経済的負担の軽減をめざし、第 2 回目の国会請願を実施

参考ウェブサイト <http://j-fine.jp/shomei/shomei2009.html>

**衆議院議員会館にて、『不妊治療に関する勉強会』を開催**

2009 年 6 月、国会議員・厚生労働省担当者・不妊専門医・不妊当事者が一堂に会し意見交換をしました。

参考ウェブサイト : <http://j-fine.jp/prs/kokkai0610.html>

**『Fine 祭り 2008 ひとりじゃないよ! 不妊』を開催**

2008 年 11 月 2 日、東京ウィメンズプラザにて開催。入場者約 500 名を集めました。

**不妊に関するさまざまな調査を実施**

「不妊治療施設とのコミュニケーションアンケート」を実施、結果はさまざまな場で発表予定。

参考ウェブサイ : <http://j-fine.jp/cgi-bin/mail/mail.cgi?id=commu>

**各種要望書の提出**

これまでに、厚生労働省に「新薬認可の要望書」「保険適用の効能追加の要望書」「自己注射の要望書」を提出し、すべての要望書が承認されました!

2009 年 8 月、新たに「黄体ホルモン補充剤プロゲステロン膣座薬の承認要望書」を提出しました。

参考ウェブサイト : <http://j-fine.jp/yobo/pro.html>

**カウンセリング事業**

専門家によるカウンセリングの実施、ピア・カウンセラーによる電話相談、面接カウンセリングを実施。

**学会・研究会への参加・発表**

・2009 年 8 月 6・7 日、第 27 回日本受精着床学会総会・学術講演会「生殖医療の質向上に向けて患者からの提言」において患者代表としてスタッフ 3 名が発表。

・2009 年、ESHRE (欧州生殖医学会) 患者部門にてゲストスピーカーとして発表 (オランダ)。

参考ウェブサイト : <http://j-fine.jp/prs/eshre0906.html>

**媒体関係 (取材や協力)**

朝日新聞・日本経済新聞・毎日新聞・読売新聞・東京新聞・北海道新聞・京都新聞 他

NHK「クローズアップ現代」・日本テレビ系ニュース番組「今日の出来事」・日本テレビ G+「医療ルネッサンス」・NHK「@ヒューマン」 他 週刊朝日・赤ちゃんが欲しい・AERA・Domani・VERY 他

**その他**

2009 年 6 月、「カウンセリング公開講座」実施 (東京・豊洲文化センターにて)。

JISART 施設の認定審査に患者代表審査委員として参加 (2005 年、2006 年、2007 年、2008 年、2009 年)

~ Fine 会員は約 900 名 (2009 年 8 月現在) 、さらに SNS も開設! 登録者約 700 名 (2009 年 8 月現在) ~

NPO 法人 Fine (ファイン) <http://j-fine.jp/>

〒135-0016 東京都江東区東陽 1-32-4 TEL 03-5665-1605 FAX 03-5665-1606

\* 常駐ではありませんので、できるだけメールにてお問い合わせいただければ幸いです

~ 当りリリースについてのお問い合わせ ~

E-mail : NPO 法人 Fine 広報窓口 : [finekouhou@j-fine.jp](mailto:finekouhou@j-fine.jp)